



# TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



## WEEKLY REPORT

風に向かって、風とともに

東京六本木ロータリー・クラブ会長

2013年5月13日発行 第354号

2012-2013年度 No. 34



### 本日のプログラム

平成25年5月13日

#### 卓話『江戸の文明に学ぶこと』

公益財団法人徳川記念財団 理事長

公益財団法人WWF世界自然保護基金ジャパン 会長

徳川宗家十八代当主

徳川 恒孝 様

#### プロフィール

1940年 東京にて誕生  
1964年 學習院大学政経学部 卒業  
1964年 日本郵船(株) 入社  
1994年 同社 取締役就任  
1998年 米国日本郵船 会長兼CEO就任

2000年 日本郵船(株) 代表取締役副社長就任  
2002年 同社 顧問就任  
2003年 (財)徳川記念財団設立 理事長就任  
著書:『江戸の遺伝子』(PHP研究所)他

### クラブからのお知らせ [4月22日]

#### ● 松島会長挨拶

寒い週末で、北海道や東北の一部の地域では「桜に降る雪」だった様ですが、本日は陽気が戻ってきました。経済も、安倍政権の下で、陽気さがでてきたようです。非常に良かったと喜んでいますが、アベノミクスで一寸気になる点に触れたいと思います。それは、成長戦略につき足早に好感度の施策を打ち出す一方で、一票の格差は正や議員定数の削減など政治が血を流さなければならない政策や国民負担の増加など国民に痛みや不利益をもたらす政策は、必要性が認識されているにもかかわらず遅々として進まず、先送りの姿勢が改まっていません。参議院選まではという考え方も理解できますが「たられば」に依存し過ぎますと、先行き不透明感が払拭されません。現政権が長期安定し、国際的な信頼を回復するためにも、敢えて申し上げた次第です。

#### ● 関口幹事報告

##### ・会員名簿校正のお願い

次年度の会員名簿作成にあたり、会員名簿の原稿を各会員のメールボックスに入れてありますので、記載事項に変更のある方はもとより変更のない方も、5月20日(月)までに事務局までご提出をお願いいたします。

#### ● 山本章博新世代委員長より

- 当地区青少年プログラム(2014年7・8月より1年間)の募集要項が確定いたしました。派遣希望の高校生を募集しております。宜しくお願ひいたします。
- 例年実施しております都立六本木高校のインターンシッププログラム(2013年7月実施)の受け入れ企業を6月初旬までに確定したいと思います。次年度早々の事業ですので、本年度内での決定にご協力頂き、多くの企業の参加をお願いいたします。

#### リッチモンドRC(カナダ)ビル・ミックナルティ様とバナー交換

##### ミックナルティ様のメッセージ

リッチモンドと和歌山市は姉妹都市を結んでおり40周年を迎えます。

115年前に三尾村(和歌山県日高郡)から2千人の移民を迎えました。

2011年の大震災の支援のため「I LOVE JAPAN」のスローガンのもと1kmのウォークイベントを開催し、5千人の参加で15万ドルを集めました。

宮城県の女川の小中学校への援助は3年目を迎えます。5年間、継続したいと思っております。





平成25年4月8日

## 卓話 『海外に広まる日本の食文化』

キッコーマン株式会社 取締役名誉会長

茂木 友三郎 様



今日は海外に広まる日本の食文化と醤油についてお話ししたいと思います。

今、日本ではアベノミクスと言われる政策が具体的に動き始めています。アベノミクスの三つの矢の3本目が経済成長戦略で、その中にはクールジャパンを海外に広めようという政策も入っているわけです。そのかなり大きな部分を占めるのが日本食だと私は考えておりまして、今後さらに日本の食文化が広まっていくと期待しております。

世界でどれぐらい日本食が普及しているかというと、私が7~8年前に食文化研究推進懇談会という政府の組織の会長を仰せつかっていたときに勘定した数字がありまして、海外の日本食レストランは当時24,000軒でした。私がニューヨークのコロンビア大学の経済大学院に留学していた1960年当時、マンハッタンの日本食レストランはわずか7軒でしたが、今は500店以上あるといわれています。それから世界の日本食人口はどうれくらいかというと、これは定義が難しいんですが日本食を年に一遍でもいいから食べたことがある人ということで勘定すると、当時6億人という数字が出ていて、この数字も現在はさらに増えていると思います。私が留学していた頃、お寿司や刺身は全然馴染みですよ、アメリカ人。生魚と聞いてただけで飛び上がった。それが今、寿司バーが非常に多くなっている。これは日本食が美味しいと健康にいいからなんですね。どういいかというと、例えばアメリカにいる日系人の四世、五世と日本人を比べると、糖尿病になる率が日系人の方が4倍ある。言うまでもなく食生活の違いですね。

さて海外での日本食ブームといつても実はまだレストランの段階です。家庭には残念ながらまだ普及していない。ただ家庭に入り込んでいる日本の食品はあって、その1つが醤油です。ラーメンもす



入っていて、豆腐も今後その可能性があると思います。ではどうして醤油が海外の家庭に入ったのか。私どもが本格的に国際化を考えたのは昭和30年頃で、それは国内の醤油の需要が伸び悩んだので、それなら海外で売ろうという国際化戦略を立て、その戦略に沿って1957年にアメリカの西海岸に販売会社を作り、段々と広めていったというわけなんです。幸いだったのは醤油と肉の相性がすごくいいんですね。アメリカ人が醤油を使い始めたきっかけは肉料理で、これで醤油の味を覚えたアメリカ人が他の料理にも使うようになった。ですから私どもは、醤油はアメリカではアメリカ料理に使ってもらう、ヨーロッパではヨーロッパの料理に使ってもらうということで、今、色々と醤油を使ったレシピの開発を進めております。

お陰さまで現在、海外に7か所の醤油工場があり、世界の100カ国で醤油を販売しております。私どもは醤油は日本の食文化の中心の一つと考えておりまして、その醤油を海外に普及させることで日本の食文化の理解を深めるお役に立てればと思っております。

ありがとうございました。



2013年4月11日

## 東日本大震災復興支援活動

## 『福島県飯館村立飯館中学校支援への参画』

今年度社会奉仕委員会では、前年度に引き続き東北支援を視野に入れた方針を立ておりました。特に松島会長の思いの強い福島への支援を考えていたところ、小篠会員のご縁でRI第2530地区郡山アーバンRCから『飯館村立飯館中学校生徒の運動部ユニフォームの整備』という支援への参画依頼(地区復興補助金友好クラブ申請)が飛び込んできました。飯館村は福島原発事故影響を受け全村避難状態の中、飯館村立飯館中学校は、一昨年の4月から隣町の福島県立川俣高校の校舎の一部を間借りして再開し、昨年8月に飯野の工場を改修し仮設校舎に移り授業を行っている中学校です。登下校は片道約1時間をかけてスクールバスで通学している状況です。

まず年末に田中作次RI会長が飯館村役場にお越しになり運動部活動意欲向上のために作られるこれらのユニフォームの目録を菅野村長へ渡されました。そしてついに出来上がったユニフォームを4月11日に行われました贈呈式にて渡してまいりました。自クラブから松島会長、関口幹事、浅田奉仕P委員長、デザインを担当・監修された小篠委員、そして私、総勢五人で参加させていただきました。

野球、サッカー、ソフトテニス、バスケットボール、バレー、卓球部に送られました。勿論デザインは小篠委員、生徒たちは世界に一つしかない新しいユニフォームを着て私たちに部活を見せてくれました。その時の顔は無邪気な明るい素敵な笑顔でした。これからも力強く前に進んでいって欲しいと感じました。

(記:社会奉仕委員長 斎藤 明子)



2012年12月26日、田中作次RI会長より、当プロジェクトの「運動着50着」の目録が、菅野典夫飯館村長に手渡されました。



郡山アーバンRCの例会参加



### ■ 小篠ゆまさんからのメッセージ

昨年末に飯館中学校の支援として作成させて頂いたTシャツに母・コシノヒロコが「真(までい)」の筆字を、私は「IITATE」のロゴをデザインさせて頂きましたので、それらを8種類のユニフォーム、それぞれの胸元や袖などにあしらいました。

また各クラブ部員の要望もお聞きしながら、アトラクティブなグラフィックと明るいカラーリングで構成させて頂きました。初々しい生徒さん方が着用すると、とてもプロっぽく見え、数段逞しいお姿に写り、感無量でございました。

オリジナルTシャツの寄贈については、飯館中学校のWebサイトに詳しい記事が掲載されています。  
(<http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=0720022&date=20121205>)



松島会長よりユニフォームの披露と贈呈



クラブそれぞれのユニフォーム



地元TV局の  
インタビューを受ける生徒達



例会日》月曜日 12:30 – 13:30 例会場》グランドハイアット東京 (TEL : 03-4333-1234)

**ニコニコBOX情報**

藤井 卓也さん  
目に青葉 山木トギス 妻生誕、一字余りですが。

柏原 玲子さん  
すべてが新鮮で、輝き始めるこの季節、随所に、新しい風が吹いてくるのを感じます。今年もいろいろな事に取り組んでいきたいと思います。

山中 祥弘さん  
坪田先生のポジティブ心理学、楽しみにしています。

中川 勉さん  
風のさわやかな日ですね。

安井 悅子さん  
坪田一男様「ポジティブ心理学」のお話しを楽しみにしています。

安部 義彦さん  
坪田一男先生、本日の「ハッピーな」卓話、楽しみにしています。

山本 良樹さん  
寒さに驚いた週末でした。

**4月22日 合 計 28,000円  
累 計 1,676,500円**

**次のプログラム**

**平成25年5月20日  
卓話『世界を歩く禅』  
曹洞宗瑞雲寺閑栖／曹洞宗准師家  
平野 克史 様**

**プロフィール**

昭和13年生まれ。大本山永平寺講師、大本山永平寺東京別院後堂(校長)をそれぞれ10年間就任。昭和61年、ローマ法王(パウロ二世)発願による世界平和祈願祭に大本山永平寺貫首(住職)の名代として出席。シアトル・ワシントン大学夏期講座に招かれ、座禅指導(昭和50年より10年間)。パリ・ソルボンヌ大学にて講演及び座禅指導。その他、ベルギー、イタリア、オランダ、オーストリア、ウィーン、アイルランド、モロッコなど、特にスイス、フランス、南米エクアドルには毎年座禅指導に出向(10年前より)。東西靈性交流にて、ドイツ、ベルギー、ローマにてカトリック神父と座禅。東京にて毎月4カ所にて座禅指導。

**第33回国際ロータリー第2750地区親睦ゴルフ大会  
「山の手東・西グループ合同予選会」ご報告**

4月17日(水)東京杉並ロータリー・クラブをホストクラブとして、武蔵カントリークラブ 豊岡コースで東グループ6クラブ・西グループ5クラブの代表選手75名の参加登録のもと開催されました。六本木RCは篠塚博チームリーダー以下、河野拓さん、平松和也さん、角山一俊さん、三田大介さんと安井悦子の6名で参加してまいりました。

東グループの優勝は東京西クラブ、西グループは東京世田谷南クラブが優勝しました。

本戦のガバナー杯へは各グループから上位3クラブが選出されます。残念ながら当クラブは予選通過を果たせませんでしたが、六本木の6人は「エンジョイ! ゴルフ」で一日を過ごし、一番緊張して参加した私も「シニア&女性の部の当日賞」を頂きました。一年に一度の地区的親睦ゴルフ大会です。来年は是非皆さんも奮ってご参加ください。

(記 安井悦子)

**今週の言葉**

「神よ、変えられないことを静かに受容する慎みを、  
変えるべきことを変えていく勇気を、そしてこの二つ  
を見分ける知恵を、私たちにお与えください」

ライントルト・ニーバー(1943)

ニーバーは、ドイツ系アメリカ人の牧師、神学者。この詩は、キリスト教徒の祈りのために書かれたものであるが、明晰性と慎み深さは一般の人々をも魅了する。そのためか、先の大戦では、カードに書かれ、戦場の兵士に配られた。また、戦後は、アルコール依存症患者が酒を断ち切るモットーとしても使われた。(松島正之会長)

**4月22日の例会出席率(暫定)**

・会員の例会出席数(出席率) 28名(60%)  
・ゲスト・ビジターの参加者数 5名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます

**東京六本木ロータリー・クラブ**

会長 松島 正之 幹事 関口 明博

広報・週報 委員長 安井 悅子

広報・週報 副委員長 渡辺 美智子

事務局》〒106-0031 東京都港区西麻布3-2-13 コートアネックス六本木503号室 TEL:03-6721-1555 URL:<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>